

2019年7月1日

各位

東京都千代田区神田錦町2-1-1
安田不動産株式会社
代表取締役社長 中川 雅弘

2019年3月期 決算（単体）について

以下の事項について、別紙のとおりお知らせいたします。

1. 2019年3月期 決算（単体）

（本件に関するお問合せ先）
安田不動産株式会社
経営企画部 西川・志村
TEL 03-5259-0517

1. 2019年3月期決算（単体）

(1) 貸借対照表及び損益計算書の要旨（単体）

貸借対照表の要旨

(2019年3月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	18,204	流 動 負 債	21,908
現金及び預金	10,846	1年以内返済長期借入金	15,608
その他の	7,357	その他の	6,300
固 定 資 産	248,429	固 定 負 債	140,028
有形固定資産	175,155	社債及び長期借入金	110,586
建物	55,248	その他の	29,442
土地	117,427	負 債 合 計	161,937
建設仮勘定	1,648	株 主 資 本	78,045
その他の	831	資 本 金	270
無形固定資産	1,075	資 本 剰 余 金	10
投資その他の資産	72,197	資 本 準 備 金	10
		利 益 剰 余 金	77,765
		利 益 準 備 金	67
		その他利益剰余金	77,697
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	26,651
		その他有価証券評価差額金	26,651
		純 資 産 合 計	104,696
資 産 合 計	266,633	負 債 ・ 純 資 産 合 計	266,633

損益計算書の要旨

自 2018年4月1日

至 2019年3月31日

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 収 益	36,036	特 別 利 益	92
営 業 原 価	20,682	税引前当期純利益	11,123
営 業 総 利 益	15,353	法人税、住民税及び事業税	3,446
販売費及び一般管理費	4,697	法人税等調整額	▲100
営 業 利 益	10,655	当 期 純 利 益	7,777
営業外収益	1,708		
営業外費用	1,333		
経 常 利 益	11,030		

(2) 2019年3月期業績の前期比較と2020年3月期の業績見通し(単体)

①収益の概況

	2019年3月期	2018年3月期	増減	前期比
営業収益	36,036 百万円	30,976 百万円	5,059 百万円	+16.3%
営業利益	10,655 百万円	9,909 百万円	746 百万円	+7.5%
経常利益	11,030 百万円	9,908 百万円	1,122 百万円	+11.3%
当期純利益	7,777 百万円	6,830 百万円	947 百万円	+13.9%

②主要な収益項目の内訳

	2019年3月期	2018年3月期	増減	前期比
不動産賃貸収益	20,559 百万円	19,594 百万円	964 百万円	+4.9%
分譲事業収益	10,516 百万円	6,957 百万円	3,559 百万円	+51.2%
不動産流動化事業収益	2,575 百万円	2,030 百万円	545 百万円	+26.9%
仲介鑑定・その他収益	2,384 百万円	2,394 百万円	▲ 10 百万円	▲ 0.4%

③2020年3月期業績の見通し(単体)

	2020年3月期	2019年3月期	増減	前期比
営業収益	35,000 百万円	36,036 百万円	▲ 1,036 百万円	▲ 2.9%
営業利益	9,600 百万円	10,655 百万円	▲ 1,055 百万円	▲ 9.9%
経常利益	9,700 百万円	11,030 百万円	▲ 1,330 百万円	▲ 12.1%
当期純利益	7,300 百万円	7,777 百万円	▲ 477 百万円	▲ 6.1%

(3) 2019年3月期業績の補足説明

① 総括

当期の経営成績は保有ビルの空室率の低下・賃料単価上昇による貸家料の増加や分譲事業収益の増加等が貢献し営業収益 36,036 百万円、営業利益 10,655 百万円、経常利益 11,030 百万円、当期純利益 7,777 百万円と前期比増収増益となりました。

② 部門別営業収益概要

不動産賃貸事業につきましては、テナント誘致活動・関係強化及び賃料改定に注力した結果、前期比 964 百万円増の 20,559 百万円となりました。

分譲事業につきましては、アルファグランデ千桜タワーやレフィール日本橋馬喰町の分譲やビューライド綾瀬の売却により前期比 3,559 百万円増の 10,516 百万円となりました。

不動産証券化事業につきましては、福岡天神のホテル（ザ・ビー福岡天神）の売却による配当金の計上が要因となり、前期比 545 百万円増の 2,575 百万円となりました。

仲介鑑定・その他事業におきましては、受取管理料の減少により、前期比 10 百万円減の 2,384 百万円となりました。

(4) 2020年3月期業績見通しの補足説明

2020年3月期は、営業収益 35,000 百万円、営業利益 9,600 百万円、経常利益 9,700 百万円を見込み、営業利益は 1,055 百万円の減益、経常利益は 1,330 百万円の減益となる予想です。

以上